

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和元年 7月 30日

事業所名 引野ひまわり学園

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	○		・ロッカーを可動できるようにしている	・ロッカーやテーブルを収納したり動かすことにより、活動に影響がないようにしている
	② 職員の配置数は適切である	○		・4対1以上の配置にしている	・歩行の不安定な児及びてんかんの児への対応として、加配保育士1名を配置している
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・建物が古く、バリアフリーとまではっていない パーテーションやテーブル等の配置を工夫している	・場所と活動が分かりやすいようにパーテーションやテーブル、椅子等の配置を工夫し、子どもたちが分かりやすい生活空間を整えていく。建物自体が古いため、難しい部分もある
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎日時間を設定し掃除を行っている	・清掃(消毒含む)は徹底している子どもたちが心地よく過ごせるよう、できるところは工夫していく
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員会議や指導会議で議題に挙げ、職員全体に周知している	・内容に応じて、職員会議、指導会議、リーダー会議等で、関係職員の参画を促し、職員全体に周知している
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・児童発達支援ガイドラインに基づく、評価を実施している	・評価表について30年度の結果を31年度に生かし、サービス向上に繋げていきたい

業務改善	⑦	事業所向けの自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○		・平成30年度の保護者評価表は、H31年3月に実施済み	・評価結果については学園内に掲示している また、ホームページでも公開している H31年度も実施予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・市の指定管理施設としてモニタリングを実施している	・外部評価は実施しておらず、今後の検討課題である
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修、内部研修を実施している	・1～2年目の職員については、年度当初に園内研修の年間計画を立て、実施するとともに、日々の保育の中で実践を通して指導を行っている ・3年目以降の職員については個々のスキルに合わせて研修を実施していく
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・面接等で保護者のニーズを把握し、支援計画に活かしている	・保護者からの情報やニーズを把握し、学園での行動観察を含め子どもの課題を明確にし、支援計画に反映させていく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ポーターや遠城寺検査などを使って支援計画を立てている	・今後とも客観的なアセスメントを行いよりよい支援計画を立てて行く
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・個別の児童発達支援計画に網羅している	・児童発達支援計画ガイドラインに沿った、個々の支援計画を立てる
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・定期的に見直しを行っている	・今後も継続していく

適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・チーム(クラス・グループ)で、話し合い立案している	・今後も継続していく
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・書面化し、固定化しないように確認を行っている	・他のクラスやグループでの活動内容を紹介したり、研修で学んだことなどを保育に活かし、内容が固定化しないように心がけていく
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	○		・個人の目標に合わせて指導形態を考慮しながら実施している	・今後も継続していく
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・登園前の時間を利用して行っている	・今後も継続していく
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・降園後の時間を利用して、園児の情報交換や支援方法の検討など行っている	・今後も継続していく
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の記録をとっており、支援に役立っている	・今後も継続していく
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリングを年2回行っておりその際支援計画の見直しを行っている	・ガイドラインに沿って、年度当初に個別の児童発達支援計画の説明を行い、その後2回のモニタリングを実施している

関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・必要に応じて相談支援事業所職員と情報交換を行っている	・今後とも必要に応じて参画して行く
	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・今年度、該当児がいない
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・該当児がいない	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・該当児がいない	
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・幼稚園への移行支援として並行通園を実施	・幼稚園との並行通園期間に担当者間での連携し、全面移行へとつなげていった また、幼稚園や保育所に移行するときは、引き継ぎを行い引き継ぎ書を渡している
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就学する際は、引き継ぎを行い引き継ぎ書を渡している	・今後も就学等に際しては、支援内容を文書にして渡すとともに、引継ぎの会議を行う
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・療育センターのPTやOT、心理士、STに必要なに応じて来園してもらっている	・今後も継続し、コメディカルスタッフからの助言等を受け、保育に活かしていく

関係機関や保護者との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		・定期的に保育所との交流保育を実施している	・今後も定期的に交流保育を実施して行く
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	・地域に子ども・子育て会議や自立支援協議会の子ども部会がない	
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・日常の連絡ノートや電話連絡のほか、年に懇談1回、モニタリング2回を実施している	・個人懇談については、保護者の要望があれば随時実施していく ・クラス懇談やグループ懇談なども今後も実施していく
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・ペアレントトレーニングや保護者向け勉強会を実施している	・今後も継続して行く
保護者への説明責任	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・入園時等に説明を実施している	・丁寧な説明を心がける。質問は随時受け付けていく
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・保護者勉強会において、「児童発達支援ガイドライン」に基づいた計画案の立案や支援内容を説明した	・個別の児童発達支援計画については、個別懇談において丁寧に説明していく
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・日常の連絡ノートや電話連絡のほか、年に懇談1回、モニタリング2回を実施している	・日々の連絡ノートで情報交換したり直接話したり必要に応じて家庭訪問するなどのやり取りを今後も継続していく

保護者への説明責任	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・父母の会の役員と随時情報交換を行こなっている	・今後も父母の会の活動を支援して行く
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・毎日連絡帳等で情報交換をしている。相談があった場合には対応している	・経験の浅い職員の担当ケースについてはクラスリーダーや主任、園長が助言を行い、迅速に対応する体制を整えている
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・行事予定は年度当初とその都度知らせている。また活動の内容に関しては、HPで知らせるとともに園内に掲示している	・HPは毎月更新するとともに、HPの内容を保護者に周知できるよう掲示についても継続して行く
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・終業時にはファイルチェックや個人情報に関する書類は施錠可能な書庫で保管している	・今後も継続していく
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・言葉に加え、視覚的、身体的伝達方法をとっている	・今後とも障害のある方に関しては、情報伝達等の配慮を行っていく
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・地域の方に協力を依頼し伝承遊びを行っている	・今後も地域との連携を行う
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・各種マニュアルを作成し職員に周知している また毎月避難訓練等を実施している	・保護者へは総合避難訓練への参加を促している 様々な訓練の様子についてはホームページで公開している ・感染症については、注意喚起のプリントを配布している

非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・地震、竜巻、水害訓練をしている	・今後も継続して行く
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・通園開始前の面接のときに情報を入手するようにしている	・薬の種類や量などについて変更があった場合は必ず学園に知らせることを保護者へ周知していく
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・通園開始前に入手し対応している	・今後も継続して行く
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハットがあった場合、朝礼で共有するようにしている また書面で残している	・今後とも書面で残したり、共有するようにしていく
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待防止のための職員向けチェックリストを作成している	・子ども総合センターから講師を招聘し、勉強会を実施する
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・やむを得ず身体拘束を行う場合は、予め保護者の同意を得るようにしている	・身体拘束について、書面化し説明を行い、保護者の同意を得ている ・日々の記録についても実施している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。